

ディスクロージャー誌

# J A うつのみやの現況

(令和4年8月期)

宇都宮農業協同組合

## 1. ごあいさつ



みなさまには、平素より私どもJAうつのみやをご利用いただき、誠にありがとうございます。

いまだに新型コロナウイルスの終息が見通せない状況にありますが、当JAは、組合員・利用者及び地域のみなさまのご理解を得て、令和4年8月末において、貯金残高2,967億円、貸出金残高667億円となり、一層の経費削減に努めた結果、経常利益は3億円を計上するとともに、自己資本比率は17.57%程度となり、経営の健全性を確保しております。

令和4年度は、3か年計画の初年度であり、組合員・利用者の皆さまとの対話をさらに徹底し、不断の自己改革に向けて役職員一体となって全力を挙げて取り組み、組合員・利用者の皆さまの期待に応えてまいります。

今後とも、組合員・利用者及び地域のみなさまとともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性の向上とサービスの提供に努めて参りますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮農業協同組合

代表理事組合長 横松 久夫

※以降、本冊における表中の数値は単位未満切捨てのため、合計に相違があります。

## 2. 農業振興活動

当JAは、農業振興活動として、以下の活動を行っております。

### (1) 農業関係の持続的な取り組み

#### ①安心で信頼される農畜産物づくりへの取り組み

生産履歴記帳の徹底や環境に配慮した栽培管理、適正な飼育管理指導により、安心で信頼される農畜産物の提供に努めています。

実需者・消費者ニーズに沿った良品質な米・麦・大豆の生産振興に取り組み、また、園芸作物では、加工・業務用野菜を含め、露地野菜の生産振興や新規栽培者の掘り起しなど産地の拡大と強化に努めています。

#### ②出向く体制の整備・充実による担い手・新規就農者への支援

認定農業者や集落営農組織等、地域の担い手の育成・確保を図り、将来にわたる農業の持続的発展をめざします。園芸作物では、新規就農者、担い手、後継者等を対象とした説明会、各種研修会などを開き、生産者同士の仲間づくりや栽培技術の高位平準化を図っています。

#### ③担い手の労働力確保の支援

農業者の労働力不足に対応するため、無料職業紹介事業を実施しています。求人WEBサイトを活用した効果的なPR活動により、高齢化や規模拡大に伴う労働力不足の解消に努めています。

#### ④主食用米の需要に応じた生産の推進

主食用米の需要量の急激な減少等により、需給が大幅に緩和している状況を踏まえ、需要に応じた米生産を推進しています。（飼料用米への作付転換等）

### ⑤農業関連融資の状況

農業者の安定した農業経営のために、農業運転資金や設備資金などニーズに応じて、ご相談をお受けしています。また、情報収集の強化や迅速な対応により、利用者の満足度アップを図っています。

### ⑥地産地消・食育の取り組み

農林業祭、収穫祭などのイベント、地元食材の学校給食への提供を通じて、「食」と「農」への理解を深める取り組みを進め、地元農畜産物の消費拡大PR活動に努めています。

## (2) 地域密着型金融への取り組み（中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況を含む）

### ①農業者等の経営支援に関する取り組み方針

当JAでは、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を「当JAの最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当JAの担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適正な業務の遂行に向け、金融円滑化にかかる基本的方針等を定め、対応しています。

### ②農業者等の経営支援に関する態勢整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みに対し、円滑に対応することが出来るよう、態勢を整備しています。

### ③農業者等の経営支援に関する具体的な取り組み

当JAは、農業者等の経営支援に関する具体的な取り組みとして、下記のような具体的取り組みを実施しています。

#### ア. 農業者をはじめとした地域活性化のための融資などの支援

- ・生産者と消費者をつなげる場の設定

#### イ. 担い手の経営の発展等に応じた支援

- ・国または地方公共団体との連携による農業施策の活用
- ・技術顧問や営農担当者と連携した営農技術指導や適正農業指導の実施
- ・新規就農相談窓口の随時対応
- ・顧問弁護士、税理士による法律・税務相談の実施
- ・労働力確保対策の実施（無料職業紹介事業）
- ・農業簿記記帳代行の取り組みと農業経営分析・診断による経営支援
- ・経営不振農家に対する支援

#### ウ. 農業者をはじめとした地域社会の情報を活用した地域貢献

- ・地域の特性を生かしたアグリスクール（農業体験教室など）の実施
- ・行政と連携した食農教育事業の展開

#### ※「新型コロナウイルス対策に伴う農業経営災害資金」の取り扱い

農業者のみなさまの新型コロナウイルスの影響による農業経営に関するお金の悩みを、資金面から全力でバックアップするため、令和2年4月21日から新型コロナウイルス対策特別融資を行っています。

#### ※「令和4年生産資材価格高騰資金」の取り扱い

農業者のみなさまの生産資材価格高騰の影響による農業経営の維持に関する悩みを、資金面から全力でバックアップするため、令和4年9月20日から「生産資材価格高騰資金」の融資を行っています。

### 3. 地域貢献情報

#### ○地域貢献に対する考え方

当JAは、宇都宮市、上三川町、下野市の一部（旧南河内町）を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。

当JAでは、「『希望の持てる農業』と『地域のみなさまの快適な暮らし』づくりに貢献してまいります」を理念とし、運営・経営にあっております。

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員のみなさまや地方公共団体などにもご利用いただいております。

また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めております。

当JAでは、平成26年に大規模災害への対応方針を策定し、定期的に訓練を行うなど、災害時においても事業継続を行うことに最大限努めております。

ア. 組合員数	令和4年2月末	令和4年8月末
正組合員（法人含む）	11,074人	11,071人
准組合員（法人含む）	8,985人	9,190人
合計	20,059人	20,261人
イ. 組合員戸数		
正組合員戸数	9,843戸	9,808戸
准組合員戸数	6,954戸	7,108戸
合計	16,797戸	16,916戸
ウ. 出資金	4,568百万円	4,603百万円

#### ○地域からの資金調達の状況（8月末）

##### 貯金・積金平均残高

組合員等	233,971百万円
その他	63,619百万円
合計	297,591百万円

☆ 上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金10,993百万円が含まれています。

#### ○地域への資金供給の状況（8月末）

##### (1) 貸出金平均残高

組合員等	54,975百万円
その他	9,813百万円
合計	64,788百万円

☆ 上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金6,352百万円が含まれています。

## (2) 融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	34,312百万円
教育ローン	92百万円
自動車ローン	1,236百万円
農業資金	1,536百万円
農業近代化資金	601百万円
就農支援資金	35百万円
その他制度資金	0百万円
その他	26,973百万円
合計	64,788百万円

☆ 上記「その他」には、資産活用資金、地方公共団体・金融機関等への貸出金が含まれています。

☆ 上記のうち、「農業近代化資金、就農支援資金等」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。

制度融資には、大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国・地方公共団体、JAが利子補給を行う制度があります。

前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金（青年等就農支援資金含む）であり、残高2,069百万円は上記の融資取扱状況に含まれていません。後者の代表的なものは農業近代化資金となります。

## ○文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

### (1) 文化的・社会的貢献に関する事項

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安心して信頼される農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しています。

組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食、子ども食堂への農産物・調理支援（女性会・青壮年部と連携）、体験学習の受け入れを行っております。また、平成24年度より地域住民を対象に「アグリスクール」「女性大学」を開校し食農への理解・生活文化活動を展開しています。さらには、日光杉並木のオーナー制度への賛同により、世界遺産を後世に引き継ぐ取り組みの一翼を担うことで文化的貢献を果たすよう努めています。

### (2) 組合員・利用者との関係性強化

当JAでは、組合員相互の親睦を図るとともに、地域のみなさまとの結びつきを強化するため、取り組みをすすめています。

なお、本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、JAまつり（農業祭）をはじめ、中止となった取り組みがあります。

令和4年度開催状況	参加人数	対象者	活動内容・実績
「みんなのよい食プロジェクト2022」	—	一般消費者	国産農畜産物を供給する生産者とJAの取り組み姿勢を示すための活動。JA直売所で笑味ちゃんウェットティッシュ・笑味ちゃんマスク等を配布。
「アグリスクール」「女性大学」	154名 (延べ人数)	地域住民	地域住民を対象とした農業体験や食育学習、女性を対象とした生活・健康・教養に関する知識の高揚を図るための講義を開催。

### (3) 情報提供活動

組合員のみなさま向けに、毎月広報紙「アグリジャンプ」を発行して、JAの事業や地域の情報を提供しています。さらに、情報発信を強化するために准組合員向け広報紙「アグリうつのみやJOIN」を発行しています。また、地域住民や一般消費者のみなさまへの情報発信として、コミュニティー紙「アグリうつのみや」を発行しています。

その他に、ホームページを通じて、JA事業や農畜産物の情報を迅速に発信するとともに、みなさまからの情報やご質問・ご意見等はホームページ内のメールフォーム（セキュリティ対策あり）でも受け付けています。

ホームページアドレス	<a href="https://www.jau.or.jp">https://www.jau.or.jp</a>
eメール	<a href="mailto:soumuka@jau.or.jp">soumuka@jau.or.jp</a>

### (4) 地方創生に関する事項

農業の生産振興や地域の安全・安心の強化など、複数の施策事業において、連携・協力に取り組むことにより、地方創生のさらなる推進を図り、持続的なまちの実現をめざしています。

- ①宇都宮市との地方創生に関わる包括連携協定（平成30年11月締結）
- ②下野市との地方創生に関わる包括連携協定（令和2年11月締結）
- ③上三川町との地方創生に関わる包括連携協定（令和2年12月締結）

## (5) 店舗体制 (令和4年10月末現在)

### ○支所

店舗名	住所	電話番号	A T M数
本 所	〒320-0031 宇都宮市戸祭元町 3-10	028-625-3380	1 台
中央支所	〒320-0806 // 中央 1-9-7	// 633-3467	1 台
平石支所	〒321-0901 // 平出町 1769 - 3	// 661-4311	1 台
南部支所	〒321-0113 // 砂田町 526	// 656-1020	2 台
城山支所	〒320-0065 // 駒生町 2326-2	// 652-0711	1 台
北部支所	〒321-2118 // 新里町丙 286-1	// 665-0003	1 台
豊郷支所	〒321-0975 // 関堀町 199-1	// 624-8011	1 台
清原支所	〒321-3236 // 竹下町 333-2	// 667-0151	1 台
姿川支所	〒320-0852 // 下砥上町 1486-1	// 658-6881	1 台
宝木出張所	〒320-0061 // 宝木町 1-2591-1	// 622-6111	1 台
上河内支所	〒321-0403 // 下小倉町 1218	// 674-3333	1 台
河内支所	〒329-1102 // 白沢町 1797	// 673-3135	1 台
南河内支所	〒329-0425 下野市田中 579-1	0285-48-2211	1 台
上三川支所	〒329-0611 河内郡上三川町大字上三川 3237	// 55-1510	1 台

### 店舗以外のA T M設置状況

宇都宮市	宇都宮市役所	宇都宮市旭 1-1-5 宇都宮市役所 1 階	1 台
〃	栃木県 J A ビル	〃 平出工業団地 9-25 栃木県 J A ビル 1 階	1 台
〃	済生会宇都宮病院	〃 竹林町 911-1 済生会宇都宮病院 1 階	1 台
〃	篠井	〃 下小池町 569-104	1 台

※ J A うつのみやの A T M は全て生体認証システム対応となっております。

### ○営農経済センター

店舗名	住所	電話番号
宇都宮北部営農経済センター	〒321-2118 宇都宮市新里町丙 286-1	028-665-0550
宇都宮西部営農経済センター	〒320-0852 // 下砥上町 1486-1	// 658-6565
宇都宮南部営農経済センター	〒321-0113 // 砂田町 526	// 656-8484
宇都宮東部営農経済センター	〒321-0901 // 平出町 3565-1	// 660-3535
上河内営農経済センター	〒321-0403 // 下小倉町 1218	// 674-2164
河内営農経済センター	〒329-1102 // 白沢町 1797	// 673-6911
南河内営農経済センター	〒329-0425 下野市田中 579-1	0285-48-2215
上三川営農経済センター	〒329-0611 河内郡上三川町大字上三川 3237	// 55-1511

### ○直売所

店舗名	住所	電話番号
えきの市場内 J A 農産物直売所	〒321-0965 宇都宮市川向町 1-23 駅ビルバセオ 1 階	028-627-8438
J A グリーンインターパーク	〒321-0113 // 砂田町 526	// 656-1212
J A グリーンかみかわち	〒321-0403 // 下小倉町 1218	// 674-2711
南河内グリーンセンター	〒329-0433 下野市緑 1 丁目 4-1	0285-44-3371
上三川いきいきプラザ農産物直売所	〒329-0617 河内郡上三川町大字上蒲生 127-9	—

#### 4. 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和4年2月末	32	6	15	11	32
	令和4年8月末	33	9	14	9	33
危険債権	令和4年2月末	374	282	1	90	374
	令和4年8月末	359	266	—	92	359
要管理債権	令和4年2月末	—	—	—	—	—
	令和4年8月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和4年2月末	—	—	—	—	—
	令和4年8月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和4年2月末	—	—	—	—	—
	令和4年8月末	—	—	—	—	—
小計	令和4年2月末	407	288	16	101	407
	令和4年8月末	393	276	14	102	393
正常債権	令和4年2月末	63,679				
	令和4年8月末	67,189				
合計	令和4年2月末	64,086				
	令和4年8月末	67,582				

(注) 1. 令和4年2月末から令和4年8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分（信用事業債権）は、次のとおりです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

・破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

## ②危険債権

・債権者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権をいいます。

## ③要管理債権

・④「三月以上延滞債権」と⑤「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。

## ④三月以上延滞債権

・元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

## ⑤貸出条件緩和債権

・債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

## ⑥正常債権

債務者の財政状態及び経営成績の特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

## 5. 単体自己資本比率

令和4年2月末	令和4年8月末
17.32%	17.57%程度

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当JAの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

## 6. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和3年8月末	令和4年2月末	令和4年8月末
貯金	295,830	296,733	296,752
貸出金	61,202	62,692	66,790
預金	212,775	211,310	206,548
有価証券	22,662	25,592	25,597
(参考) 購入未収金	738	913	792

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

## 7. 有価証券の時価情報

### 〔売買目的有価証券〕

売買目的有価証券については、当 J A では投機的運用を行わないため保有しておりません。

### 〔満期保有目的の債券〕

満期保有目的有価証券については、当 J A では保有しておりません。

### 〔その他有価証券〕

(単位：百万円)

	種 類	令和4年2月末			令和4年8月末		
		取得価額	貸借対照表計上額	差 額	取得価額	貸借対照表計上額	差 額
貸借対照表計上額が取得価額を超えるもの	国 債	19,131	20,319	1,187	19,797	19,797	0
	地 方 債	600	630	30	600	600	0
	政府保証債	-	-	-	-	-	-
	金 融 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	4,500	4,642	142	5,200	5,200	0
合 計		24,231	25,592	1,360	25,597	25,597	0

(注) 取得価額は償却原価法 (アモチ・アキュム) 適用後、減損処理前のものです。

## 8. 令和4年度上半期の取り組み

### ◇准組合員モニター (新たな取り組み)

継続的な意見交換を通し、J A 理解の促進および組合員・利用者の視点に立った事業運営、商品・サービスの提供を図ることを目的とし、准組合員モニター制度を設置しました。

第 1 回は、オリエンテーションを開催し、J A のイメージや改善点などの意見をいただきました。ひきつづき開催し、組合員・利用者の信頼と期待に応えられるよう努めてまいります。



第 1 回准組合員モニター

## 9. 令和4年度下半期の取り組み

◇各種相談会を開催しております。

### ▼年金相談会

年金の仕組みから具体的な手続き、疑問点まで年金の専門家である社会保険労務士を招き、親切・丁寧にわかりやすく相談に応じます。また、最寄りの店舗では、年金に関する照会・調査、受給手続きなどのお手伝いをしております。ぜひご利用ください。

日 時	会 場
11月27日（日）	平石支所、豊郷支所、清原支所
1月22日（日）	姿川支所

### ▼法律税務相談日

毎月20日を基準に、弁護士・公認会計士（税理士）による無料相談会を、本所で開催しております。また随時、相続・資産管理の相談もお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

### ◇その他の活動

このほか管内産農畜産物の販売を通じて地産地消への取り組みを進めるとともに、各地域でのイベントを通じ、地域との交流に努めます。

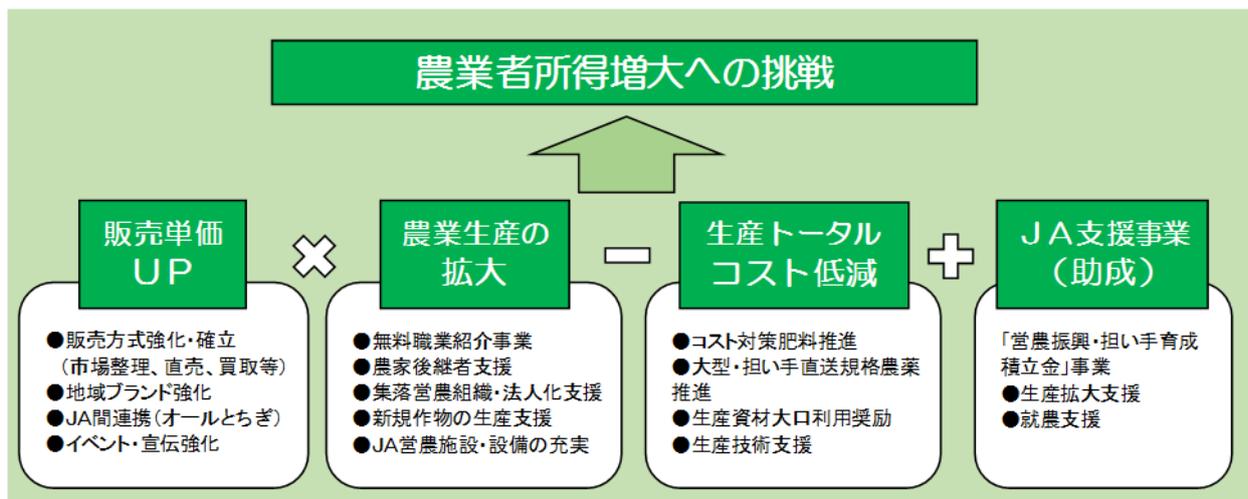
今後も経営の透明性・健全性・信頼性のさらなる向上に努め、組合員・利用者みなさまのご期待に応えてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 10. JAうつのみや自己改革の実践（令和4年度上期）

JAうつのみやでは、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」に基づき、多様な組合員の声に応え、願いを実現していくため、農業生産拡大をはじめとした「創造的自己改革」に取り組んでいます。

また、「持続可能な開発目標（SDGs）」への取り組みも地域に根差したJAの役割と認識し行動しています。

## 1. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦①



### 生産拡大・所得増大

①「営農振興・担い手育成積立金」の活用による生産者支援



◇「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、積立金を活用した支援事業により、意欲ある農業者や新規・親元就農者等への直接支援を積極的に進めています。

- 《令和4年度 支援事業（取組中）》
- ①親元独立経営支援事業
  - ②簡易パイプハウス支援事業
  - ③園芸施設導入支援事業
  - ④梨生産力向上支援事業
  - ⑤露地野菜生産振興支援事業
  - ⑥共同乾燥調製施設導入支援事業
  - ⑦畜産導入支援事業



園芸施設導入支援事業を活用したハウス



導入後も継続的なフォローアップを実施

## 生産拡大

### ②無料職業紹介事業による労働力支援



◇農家の高齢化・規模拡大等による労働力不足に対応するため、WEBサイトを活用し、「人手が必要な農家」と「農業のお手伝いをしたい地域住民」を無料でマッチングする事業を実施しています。

【取扱実績】採用者96名、充足率104.3%  
(農家59戸、求人数92名、求職者235名)



## 販売強化

### ③需要が見込まれるマーケットの強化



◇主食用米の需要量の急激な減少等により、需給が大幅に緩和している状況を踏まえ、特色ある米づくりとして、早期米「なすひかり」への生産振興を推進しました。

【取組実績】なすひかり: 3,977俵(12名契約)

◇うつつのみや産コシヒカリを「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会宇都宮市実行委員会」に、贈呈し全国にPRしました。



早期米「なすひかり」



国体にコシヒカリ提供

## 生産拡大

### ④集落営農組織の組織化・法人化支援



◇地域農業の維持・向上を図るため、担い手・集落との協議を重ね、地域の実状に応じた新たな集落営農組織育成と既存組織の機能強化を進めています。

【取組実績】地域意見交換会 1地区(上河内地区)  
法人化支援 1地区(東部地区)



上河内地区意見交換会

## 販売強化

### ⑤インショップ事業による地産地消拡大



◇新鮮な農産物の出口確保として、地元量販店へのインショップ事業に取り組み、地産地消の推進と販売力強化を進めています。(販売先 ヨークベニマル、イトーヨーカ堂、オータニ等)

【取扱実績】42,671千円(前年比88.3%)

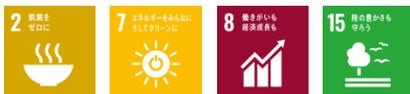
◇集荷拠点としてR3年度より西部選果場を追加し、生産者の出荷労力軽減と利便性の向上を進めています。



地元量販店でのインショップ事業

## コスト低減

### ⑥生産コストの引き下げ



◇「予約価格とりまとめ・肥料農薬大口利用者奨励・肥料大口購入割引」等による生産コスト削減を進めています。

【取扱実績】(自己取値引含む)

予約、大口奨励値引額 90,409千円

◇肥料低コスト品の取り扱いを実施。

【取扱実績】水稲用肥料、飼料用米肥料

◇農薬大型規格・担い手直送規格の取り扱いを実施。

【取扱実績】水稲除草剤、水稲箱施用剤  
茎葉処理剤、畑用除草剤 など



自己取値引(肥料55円/20kg袋、33円/15kg袋)

## 生産性向上

### ⑦ICTを活用した生産技術支援



◇意欲ある担い手を対象に、環境測定機器の有効性と施設内環境管理による収量向上・栽培高度化にむけた研修会を実施しました。(毎2回、球根切花1回)

◇ドローン・人工衛星を活用したリモートセンシング技術(生育診断)により、小麦の出穂期前の葉色・圃場内の生育状況のばらつきを「見える化」し、追肥計画や収穫時期確認への利用を検討しました。

(小麦リモートセンシング、生育調査:河内地区9.32ha)

(Z-GIS・ザリビオ講習会:48名参加)



小麦の圃場を撮影するドローン



Z-GIS・ザリビオの使用方法に関する講習会

## 農業融資強化

### ⑧ 農業融資専任担当者の配置



◇農業者・農業法人等の資金ニーズへの対応を強化し、資金面から全力でバックアップするため、農業融資相談員を配置しています。

【農業融資残高】2,032百万円(前年対比105.0%)

◇農林中央金庫へ職員を出向させ、融資担当者として、組合員の多様なニーズに対応可能な専門性の高い人材育成に取り組んでいます。

設備投資・規模拡大を検討されている方へ

私たちがJAうつのみやの

## 農業融資相談員

です!!

農業資金についてこんなお悩みはありませんか?

- どんな資金が使えるのか教えてほしい...
- 借入したいけど手続きが大変そうだなあ...
- どのくらいの期間で借りられるのだろう?

農業融資相談員とは...

- ・2020年度より新たに任命!  
⇒農業資金に特化した外回りです
- ・窓口へ来る手間は取らせません!  
⇒フットワーク軽くお客様のもとへお伺いします
- ・ニーズに合った資金をご提案!  
⇒各支所の融資担当者と連携しお借入れの手続きをサポートします

## 営農指導強化

### ⑨ 徹底した効率化戦略の実践



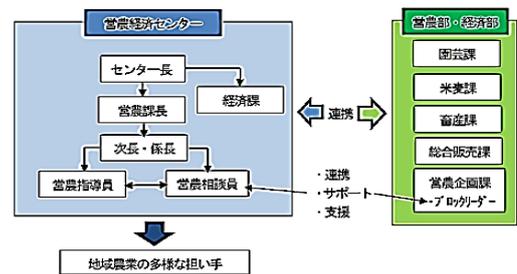
◇組合員・農業者の多様なニーズに対応するため、営農活動全般に関する総合窓口として、各種相談事の対応や地域農業の振興に寄与する取り組みを行っています。



営農指導体制

#### 2022年度上期の実績

- ①新規品目の導入規模拡大
  - ・新規品目栽培者 13人156戸
- ②経営改善支援
  - ・経営改善支援対象者 63人
- ③新規就農者の確保・育成



## Ⅱ. 「地域の活性化」への貢献

### ① フードバンクへの協力(フードバンクうつのみや)



◇金銭面での困窮などの理由で、女性用品を購入できない「女性の貧困」問題への支援として、女性組織「なの花会」が女性用品や食品など段ボール3箱分を提供しました。



◇社会貢献および食品ロス削減のため、役職員個人でもSDGsへの取り組みを実践しました。役職員が持ち寄った米30kgと段ボール3箱分の食品を提供しました。(上河内支所・上河内営農経済センター)



## ②子ども食堂への協力(昭和こども食堂)



◇支援の充実化を図るため、「JA」「女性組織」「青壮年部」が各組織の強みを生かし、一体的な協力体制を構築しました。(地産地消による食育活動の実践)

JA: 支援金やJA直売所利用の助成

女性組織: 調理ボランティア(毎月)

青壮年部: 農畜産物提供(随時)



青壮年部による農畜産物提供



女性組織による調理ボランティア

## ③JAくらしの活動



◇アグリスクール: 地域住民を対象に、定植から収穫までの農業体験を通じて、農業の関心を高める活動を行っています。

◇女性大学: 地域の女性を対象に、農業・生活・文化までの幅広い講座を通じた心豊かな仲間づくりを行っています。



アグリスクール・女性大学の活動風景

### Ⅲ. 組合員の拡大と「アクティブ・メンバーシップ」の確立

#### ① 組合員との対話活動



◇各地区の農業振興・地域活性化を図るため、組合員の地域独自の意見・要望を話し合う、事業運営委員意見交換会を実施しました。

【取組実績】6会場 事業運営委員 87名出席  
(下期:2会場実施)

◇JAや農業への理解を深めてもらい、農業の応援団として地域農業、JAの利用促進を図るため、今年度初めて准組合員モニターを設置しました。

【取組実績】参加人数 12名



事業運営委員意見交換会



准組合員モニター

